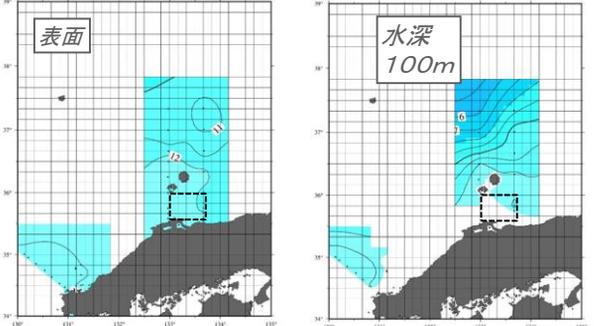
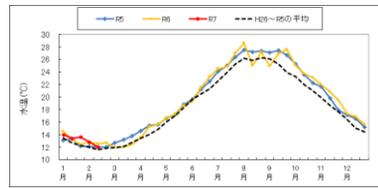




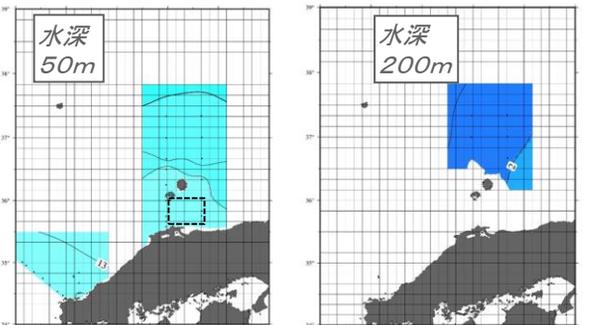
鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)
2月中旬 12.0°C
平年とほぼ同値



隠岐海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の平均水温は12.1°Cを示しています。
【前年差: -0.11°C、平年(直近20年)差: -0.77°C】

平均水温は12.0°Cを示しています。
【前年差: -1.15°C、平年(直近30年)差: -0.42°C】



平均水温は12.4°Cを示しています。
【前年差: -0.93°C、平年(直近20年)差: -0.56°C】

水深200mの水温は前年並でした。

水産試験場

ズワイガニの稚ガニの調査を実施しています

2019年から5年間、大型桁網によるズワイガニの稚ガニの調査を実施してきました。

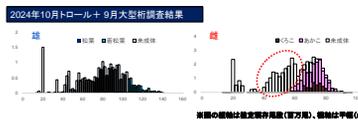
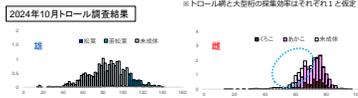
この調査は従来の着底トロール網(目合7節=5cm)で採集することができない、甲幅5cm以下の稚ガニを採集し、その分布状況から今後のズワイガニの資源動向をより早期に把握することを目的としています。

今回は大型桁網(目合18節=1.8cm:右の写真)で隠岐周辺の約20地点で稚ガニを採集した結果から、稚ガニも含めたズワイガニの推定現存尾数を算出、稚ガニの分布特性の把握を試みましたので、結果を一部報告します。なお、本調査は今後も引き続き実施する予定です。



大型桁網の仕様

【稚ガニも含めたズワイガニの現存尾数の把握】



稚ガニの数は推定現存尾数(尾数75%)、稚ガニは平均(cm)

【稚ガニの分布特性について】



10月の漁期前調査結果と大型桁網調査結果から、小型個体も含めた資源動向をより詳細に把握することが可能になりました(左下図)。特に雌では40-60mmの未成体(マンジュウガニ)の加入が見え、来漁期にアカコの加入が見られると推測されます。

また、左図のとおり甲幅1.6-4cmの小型の稚ガニは浅場(水深150-180m)に主に分布し、甲幅4cm以上では深場(200m以深)に生息域が移行すると考えられました。

さらに、小型の稚ガニは5°C以上の比較的高い水温に耐性があると考えられました。

令和6年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
播磨営業所 鳥取県境港市栄町92番地1 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

2月上旬の水塊配置と対馬暖流

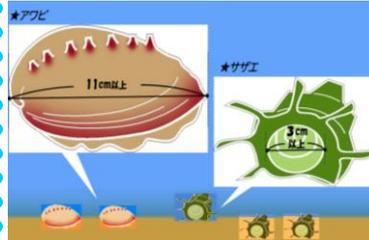
鳥根沖冷水 隠岐諸島北方 山陰・若狭沖冷水

鳥根沖冷水域	隣県で該当海域の観測が出来ず不明
隠岐諸島北方の冷水域	鳥取県沖のN36°30'以北に冷水域が認められました。
山陰・若狭沖冷水域	鳥取県東部沖N36°50'以北に冷水域が認められました。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい流れ、主流の一部は隠岐諸島北方冷水域および山陰・若狭沖冷水域に沿って流れると考えられます。

水産振興課

～漁獲サイズ自主規制の周知用ポスターを作成しました～

アワビ殻長11cm以上、サザエ殻蓋長径3cm以上のみ漁獲し、それより小型のものは漁獲しないでください*



※自主規制の対象は、以下の補助事業を活用してアワビ・サザエを放流している漁場を利用している漁業者です。

- 【持続可能な栽培漁業推進事業】
- 対象経費
- 対象条件
- 補助条件
- ・従来の資源・漁場管理活動の実施
- ・漁獲サイズ自主規制の強化(アワビ殻長11cm以上、サザエ殻蓋長径3cm以上)

県補助金を活用して放流している漁場をご利用の漁業者の方は、漁獲サイズの自主規制遵守をお願いします。ポスターにはアワビの殻とサザエの蓋のサイズを確認できる実寸大スケールをつけていますので、サイズを測る時にぜひご活用ください。(ポスターは対象の漁協に配布)

近年、アワビとサザエの漁獲量が減少傾向のため、令和7年度事業より、ウニ駆除と適地・適期放流の実施を補助条件に追加します。アワビとサザエの資源を回復・維持するために、皆様のご協力をお願いします。

(担当) 漁業振興担当 岡崎 TEL:0857-26-7316

栽培漁業センター

鳥取県全域の藻場分布図を作りました!

近年、減少傾向にある藻場の分布状況を把握するため、今年度は新しい手法として現場調査に加えて衛星画像の解析を実施しました。解析により、県内全域を対象として、優占種(藻場タイプ)別の藻場面積を推定することが出来ます。解析の結果、藻場総面積は1,226ha(図1)で、藻場タイプ別ではガラモ場が最も多く、648haと推定されました(図2)。今後も定期的に衛星画像解析を行い、効果的な藻場造成に活用していきます。



図2 地区別の藻場面積

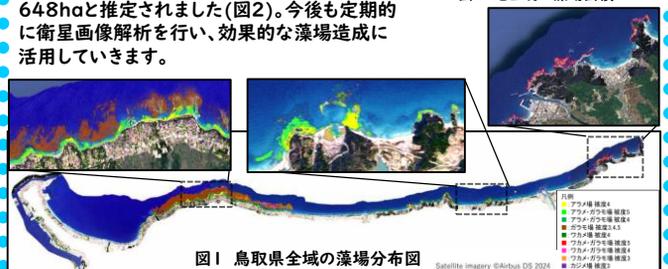


図1 鳥取県全域の藻場分布図

潮に夢を 共和水産株式会社

代表取締役 橋津 寛

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530